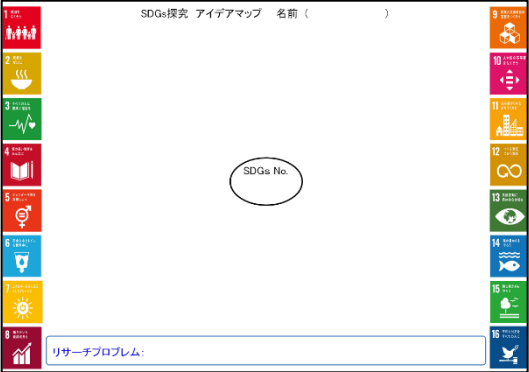


高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会的課題の内容について、自分の言葉で説明することができる</li> <li>社会的課題に取り組んでいる団体、組織を訪れてフィールドスタディを実施することができる</li> </ul>	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会的課題について他者に自らの意見を伝える事ができる</li> <li>自分が関心のある社会的課題について調べ、その解決方法を考案することができる</li> </ul>	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>主体性をもって、粘り強く学習課題に取り組もうとしている。</li> <li>社会課題を自分事とし、社会に参画・貢献する姿勢を持とうとしている。</li> </ul>	
下位学習目標	
【知識・技能】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会課題の内容について、自分の言葉で説明することができる</li> <li>社会課題に取り組んでいる団体や組織を訪れてフィールドワークを実施することができる</li> <li>データや資料を適切に使って、効果的なプレゼンテーションを行うことができる</li> </ol>	
【思考力・判断力・表現力】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>自分が関心のある社会課題について、他者に自らの意見を伝えることができる</li> <li>自分が関心のある社会課題について調べ、その解決方法を提示することができる</li> </ol>	
【学びに向かう力・人間性】	
<ol style="list-style-type: none"> <li>数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことができるものをみつけようとしている</li> <li>社会課題と向き合う中で、その課題を学ぶことが自分自身の人生においてどのような意味を持つのか関連付けようとしている</li> <li>社会的課題に向き合う中で、社会的・文化的・歴史的な構造と人為との関係について考察しようとしている</li> </ol>	

授業日	9/11(水)	2学期授業回数	2回目 / 全11回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①③ 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】① 本時の具体的な目標 ・SDGsの領域から、探究していく課題（リサーチプロブレム）を決めることができる		
時間 授業内容	0	<b>前回のロイロアンケートにおいて、領域が決まった3～5人のグループは同じ席に座る。</b>	
	5	<b>講義（教科書 P16,17）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「問題」と「課題」と「問い」の違いについて</li> <li>・SDGsは広い領域なので課題を絞り込む。課題から問いを立て、さらに粒度を落とす。</li> <li>・リサーチクエストの説明（地球温暖化を例に）</li> <li>・SDGsという広い領域から、どのような課題に焦点をあてるのか。1学期の「ジェンダー」「貧困」に関する授業から、具体的な流れを例示。</li> <li>・課題を見つけるポイントの説明（ミスコンの例、ラーケーションの例）</li> <li>・今後の探究活動における条件の説明（論文、文献、フィールドワークを行う）</li> <li>・最近の事例「富士山の景観」、「オーストラリアでの未成年のSNS禁止」を紹介</li> </ul>	
	30	<b>班が決まっているメンバーは前回のアイデアマップをまとめていく</b> <b>班が決まっていないメンバーは、前回のSDGsアンケート回答を参考にグループを組んでいく</b>	
	40	<b>班内で各自の興味・関心を発表して、班ごとにアイデアマップを作成する</b>	
			
評価方法	① 「課題」と「問い」の違いを理解し、1学期のモデリングの経験から自分たちの課題を模索していくことができる。 ② 班で意見を共有してアイデアマップを作成し、SDGsの広い領域から具体的な課題に焦点をあてることができる。		
宿題指示	班ごとのアイデアマップを完成させる。		